



『心を鬼にして…こんな時にも必要なのです』

校長 鮫島 譲

高校時代の部活動顧問の先生は大変厳しく、1時間半程度の練習でしたが、一時も手を抜くことができず、ヘトヘトになるまで稽古をしたことを思い出します。苦しく、きつくなって少しでも手を抜く(自分に負ける)様子があると、もの凄いい勢いで怒鳴られました。「自分に負けると後悔しかしないぞ！」が叱責時の口癖で、幾度となくこの言葉を浴びせられました。先生が防具を着けて直接指導される10分程度の時間は、このまま苦しい時間が永遠に続くのではと思うぐらい厳しく、まともに立ってられないほどでした。

顧問の先生は生物の先生でしたが、授業中や休み時間などとても優しく、気さくに話しかけてくる素敵な先生でした。しかし、剣道の稽古が始まると人が変わったように厳しくなります。「武道を学ぶものは、強さを求めることよりもまず心を鍛えることが大切」との考えがその根底にあり、『心を鬼にして』厳しい稽古を行っていたのです。(稽古が終わると穏やかな表情で、その日の厳しい稽古の目的を話していただきました。)

以前、テレビを観ていたら、「心を鬼にする」という話をしていました。ある体操クラブの話でしたが、子どもたちの才能を開花させるには、「心を鬼にして」指導するというのです。「誉めて育てる」、「子どもの気持ちにそって話を聞く」等、どちらかという「心を鬼にして」厳しく接することは少なくなったように感じます。クラブのコーチの厳しい指導に涙を流す子もいましたが、技ができたときの達成感を「厳しいけど、とてもうれしい」と表現していました。

「心を鬼にする」とは「人に対して、可哀想だと思いながらも相手のために思い、厳しい態度をとる」という意味です。1つ注意してほしいことは、「可哀想だと思いながらも」という部分です。平気で辛く当たっているのではなく、「相手のために思って」心を痛めながら厳しくしている様子です。そうでなければ「心を鬼にする」ではなく、単なる「鬼」です。もちろん怒りや暴力で厳しさを伝えるのは厳禁です。

私も含め、世の親というものは子どものことが心配で、何から何まで「やってあげる」ことで自分自身の安心を求めます。「失敗しないように、つらい思いをしないように」先回りしてレールを敷きたがります。子どもがいくつになっても心配はなくなりませんね。しかし、子どもは自立して自らの力で生きていかななくてはなりません。いつまでも面倒を見るわけにはいきませんから……。

【獅子は我が子を千尋の谷に落とす】という諺があります。『本当に深い愛情をもつ相手にわざと試練を与えて成長させること、またはそのようにして成長させるべきであるという考え』のことです。私たち大人は、子どもを大切に守り育てることばかりでなく、時には『心を鬼にして』『試練を与えて』子どもたちを鍛え、自立を促す

ことも大切ですね。

今年度もあと2か月となりました。中学校生活3年間の育ちは大変重要です。教育の最終目的は『自立』を身につけることだからです。ですから、学校では毅然とした態度で指導しなければならないことが多々あります。その子にあった方法で「誉めて励まし」「話をよく聞いて」たまには「心を鬼にして」指導を行ってまいります。これまでの生徒一人ひとりの育ちを振り返り、あと2か月でベストな状態で進学・進級できるよう教職員一同がんばります。ご家庭でもご協力をよろしくお願いいたします。

## 行事

## 吉田北中入学説明会

1月17日(水)は、吉田小学校の6年生と保護者のみなさんを対象に入学説明会を行いました。

説明会前半は、日程確認後、授業参観と施設見学を行いました。授業参観では1年生の社会、2年生の英語、3年生の数学の授業を見てもらいました。特に、3年生の授業では私立高校受験前とあって、緊張感も伝わってきたのではないのでしょうか。

説明会後半では、生徒会役員から中学校生活についての説明を受け、その後生徒指導主任から、生徒心得等についての話を聞きました。話を聞いている6年生のみなさんは、とても良い姿勢で、集中して聞いていて、中学校に進学するという心構えがしっかりとできているようでした。みなさんの入学を楽しみに待っています。



## 話題

# 3学期のスタートにあたり



生徒会代表

2年

皆さんは冬休みをどのように過ごしましたか。家族と楽しく有意義な時間を過ごせた人や冬休みの宿題を先送りにして大変な思いをした人など、様々だと思います。

さて、今日から3学期が始まります。朝、早く起きるのが辛いと感じた人も多かもしれませんが、3学期も「あいさつ運動」に積極的に参加して、気持ちよく1日のスタートをきれいにしましょう。

3学期には大きな行事が3つあります。1月には吉入学説明会があります。生徒会執行部として、吉田北中学校の魅力が伝えられるように準備をしていきたいと思います。皆さんも、4月に入学してくる「新1年生」を優しく迎えられるように準備をしていきましょう。3月には保健環境部を中心にスポーツタイムを実施します。スポーツを通して3年生と交流を深め、思い出作りのラストスパートをかけたいと思います。スポーツタイムが終わると卒業式です。私たち2年生は2年間、1年生は1年間、3年生にはいろいろな面で助けてもらいました。3年生とのたくさんの思い出を噛みしめながら、3年生を次のステージに送り出せるようにしたいと思います。

3学期になると、3年生と過ごせる時間も残り少なくなります。私たち1・2年生は、高校入試に立ち向かう3年生を全力で応援していきます。1・2年生全員で、3年生が勉強しやすい雰囲気づくりをしていきたいと思っています。

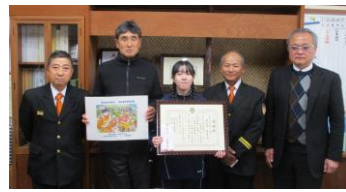
3学期は寂しいお別れもありますが、新しい出会いの準備を行う学期でもあります。生活面・学習面・生徒会活動など、この1年間を振り返り、よりよい学校生活を送れるように一人一人が意識して行動しましょう。希望を胸に充実した3学期にしましょう！



## 表彰

# よしてきた!北中生の活躍

令和5年度消防団シャッターラッピング事業において、本校3年生の さんの作品が選ばれ、佐多浦分団西部班のシャッターにラッピングされました。そして、その完成にあたり、12月21日(木)に校長室において感謝状贈呈式が行われました。



## 行事

# 性に関する授業

1月12日(金)に、学校法人吉井学園幼保連携型認定こども園錦ヶ丘主任兼主幹養護教諭の壽福典子先生を講師としてお招きして、2・3年生を対象に「STOP!デートDV~お互いを大切にするコミュニケーション講座~」を実施しました。生徒たちは、DVとは何かということを知り、素敵なコミュニケーションができるように、自分のことも大切にして、お互いを尊重し合う関係を築くための方法について学びを深めることができました。



## 行事

# 2月の行事予定

- 1日(木) P T A 専門部会  
第4回 P T A 常任委員会
- 2日(金) 公立高校推薦入学者選抜
- 9日(金) 授業参観 学級 P T A 家庭教育学級  
ノーメディアチャレンジ週間(～15日)
- 10日(土) 土曜授業
- 11日(日) (祝) 建国記念の日
- 12日(月) 振替休日
- 14日(水) 学年末テスト(～16日)
- 22日(木) 生徒会専門部会
- 23日(金) (祝) 天皇誕生日
- 27日(火) 全校朝会
- 28日(水) 生徒朝会

## 話題

# 小中連携参観週間

1月15日～19日は、年間で3回実施されている小中連携参観週間でした。3学期は、中学校の職員が小学校の授業参観を行うということで、授業の様子を見せていただきました。授業ではICTが積極的に活用され、子どもたちが意欲的に取り組む姿が見られました。